

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	博多港海岸における総合的な津波・高潮・侵食対策の推進（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	福岡市												
計画の目標	大規模地震に伴う津波、台風等に伴う高潮、海岸侵食に対して海岸保全施設の整備を行い人命・財産を防護する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	164	A	164	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26末)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	防護区域面積を0ha（H27）から62.3ha（H31）に増加させる。 防護区域面積[ha]	0ha	1ha	62ha
2	海岸保全施設の長寿命化計画の策定済みの施設数を0施設（H27）から、47施設（H31）に増加させる。 長寿命化計画の策定[施設]	0施設	23施設	47施設

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="checkbox"/>	定住自立圏を含む	<input type="checkbox"/>	連携中枢都市圏を含む	<input type="checkbox"/>	流域水循環計画を含む	<input type="checkbox"/>	地域再生計画を含む	<input type="checkbox"/>
策定した長寿命化計画に基づき、海岸堤防等老朽化対策緊急事業等によって、順次、施設の整備・改良を行う。												

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
海岸事業	A09-001	海岸	一般	福岡市	直接	福岡市	耐震	—	博多港海岸（西戸崎地区）	延長 L=108m	福岡市		■	■	■		66	—	
	A09-002	海岸	一般	福岡市	直接	福岡市	高潮	—	博多港海岸（能古（北浦）地区）	延長 L=284m	福岡市	■	■				70	—	
	A09-003	海岸	一般	福岡市	直接	福岡市	老朽化	—	海岸施設長寿命化計画	47施設	福岡市		■	■			8	—	
	A09-004	海岸	一般	福岡市	直接	福岡市	老朽化	—	博多港海岸（和白地区）	延長 L=850m	福岡市					■	20	策定済	
												小計						164	
												合計						164	

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
福岡市港湾空港局で事後評価を実施し、福岡市公共事業の再評価等実施要領に基づき設置している福岡市公共事業再評価等監視委員会において審議	令和2年12月
	公表の方法 福岡市ホームページにおいて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>【防護区域面積】 能古地区北浦護岸では、護岸前面に設置している消波ブロックが劣化し、消波機能が著しく低下していることから、台風時等には、波が護岸背後の道路・家屋に打ち上げられる状況であったため、高潮対策として消波ブロックの再整備や、護岸改良を行うことで、背後地を高潮から防護できる環境となった。 西戸崎地区は、背後地にマンションなど人家が密集しているが、当該地区の護岸については、吸い出しによる護岸敷きの陥没やひび割れ等が多発している状況であったため、護岸の構造体そのものの抜本的な改良を緊急的に行うことで、施設の耐震化を図るとともに、津波や高潮等に対して、背後の住宅地を防護できる状態となった。 【長寿命化計画の策定】 計画的な海岸保全施設の調査・検討を行うことで、長寿命化計画策定施設数の目標値を達成することができた。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

策定した海岸保全施設の長寿命化計画に基づき、施設の改良等を適切に行うことで、大規模地震に伴う津波、台風等に伴う高潮に対して、人命・財産の防護に努める。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	防護区域面積[ha]	
	最終目標値	62ha なし
	最終実績値	62ha
2	長寿命化計画の策定[施設]	
	最終目標値	47施設 なし
	最終実績値	47施設